2023年度
ワーク・ライフ・バランス推進交流会

を開催しました

テーマ◆看護職一人ひとりのワーク・ライフ・バランス実現に向けてマネジメントしよう

◇ 開 催 日　　2023年11月11日（土）

◇ 会　　場　　大分県看護研修会館　３階大研修室（ハイブリッド開催）

◇ 参加人数　　216名　（63施設　会場46名・Web170名）

実　践　報　告

「働き続けられるための環境改善の取り組みについて」

○ 医療法人慈恵会
西田病院　看護部長　村田　博美　氏
「働きやすい職場環境を目指して
～就業継続が可能な働き方の提案５要因10項目に沿って～」

○ 中津市立中津市民病院
看護部長　矢野東　和代　氏
「救急病棟（院内呼称）開設について」

※アンケートでは、役にたった・まあまあ役に立ったが100%でした

講　演

「看護職一人ひとりのワーク・ライフ・バランス実現に向けて
『セルフ』マネジメントしよう～君たちはどう生きるか～」

東京医療保健大学/大学院
教授　中島　美津子　氏

Ⅰ　医療界の動き（2040年）
Ⅱ　働き方改革と生き方改革
Ⅲ　ワーク・ライフ・インテグレーション
の３つの内容で、ご自身の経験や生き方を踏まえながら、
パワフルな講演をしていただきました。
最後に世界最「幸」職種である看護職の素晴らしさと、現役の看護職のみなさんへエールを送っていただきました！

意見交換

前残業への取り組みはどうしているか・救急病棟を新設するにあたっての看護師の確保や教育はどうしたのか・フルタイムで働いている人の配慮・セキュリティ担当者へのアプローチ・認定、専門看護師の地域での活用の重要性など、活発な意見交換や、講師からのアドバイスがありました。

交流会の様子

交流会の感想

○今後看護師が半分の数になっていくことが現実だと痛感した。
○実践報告での取り組みを聴いて、働き方はもっと多様で良いのかもしれないと感じた。
○今後、看護師は半数になることを踏まえて、ＩＣＴ化や自動化を考えていかなければいけないと痛感しました。また、２施設の取り組みを参考に、看護師の環境改善に向けて努めていきたいと思います。
○広い視野をもって、感性豊かに管理者として柔軟に対応していきたい。前向きになれる講演でした。
○業務のムダがないか業務改善を進めていき、看護師の人数が減少しても対応できる運営を考えていきたい。
○実践報告は具体的に分かりやすく、自分自身もどのように変化させていくか考えるよい機会となりました。講演では、自施設で取り組めていることや今後取り組んでいくことを病院全体で考えていくことの大切さを改めて認識しました。まずは職員の Well-being を。パワーを頂けた研修となりました。